

児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【保護者用】

(保護者等の皆様へ)

この評価表は、児童発達支援センター、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

公表日2023年1月31日

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応及び回答
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	1	0	0		十分に確保している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	23	0	0	7	何人が適正なのかわからない。先生の人数は多いと思う。	専門職を配置している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切されているか	27	1	1	1	階段がある。おもちゃや荷物は片付けし	教具や玩具等、使いやすいように分類分けをしている。指導員と共に片付けをして、収納場所を覚えられるよう支援している。エントランスに段差はあるが、室内は
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	29	0	0	1	自動掃除機が動いて楽しいと子供から聞きました。	清掃時にスチームによる除菌をしている。午前中に玩具、手摺ドアノブのアルコール消毒をしている。
適切な支援の提供	1 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	29	0	0	1	モニタリングの時、長時間お話を聞いて	連絡帳や送迎時に聞き取りを行い、支援計画に反映させている。モニタリング時以外でも必要に応じてニーズも聞き取りを行い、柔軟に支援をしている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	0	0	1		発達支援、コミュニケーション、字習支援など適した項目を選択している。具体的な声掛けの例や進め方を明記している
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	11	0	0	1		計画に沿った支援を行っているが、子供の発達やニーズの変化に伴い、柔軟な支援が行えるよう努めている。
	4 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	29	0	0	1	発表会ありがとうございました。	平日は、字習やコミュニケーション等を基本にしている。学校休業日には、製作、調理等の実習や各種セラピーや音楽活動を行っている。
	5 児童発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	11	10	今のところ、交流を希望しない。	児童クラブ等との交流に一部の保護者が難色を示しているため実施が困難。また、コロナ渦であり実施できない。指導員の子供との交流をして
保護者への説明等	1 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	0	0	0		重要事項説明書に明記し、口頭でも説明している。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	29	0	1	0		送迎時に説明している。不明な点があれば電話対応もしている。
	3 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	7	0	22	1		相談があれば実施している。来年度より、申し込み等の新システムを導入する。
	4 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30	0	0	0		直接または連絡帳にて伝え合っている。電話やLINE@でも意見交換ができるようにしている
	5 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	0	3	0		本年度は、パーテーション等の感染防止対策を行い、個別面談を実施した。
保護者への説明等（続き）	6 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3		2	25	保護者会は、仕事をしているのでないほうが	コロナ渦であり、本年度は個別面談に留めた。
	7 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	0	6	0	苦情を入れたことがないのでわからない	責任者が訪問して対応に当たるようにしている。
	8 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	0	2	0		直接または電話に加えLINE@活用をしている。
	9 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信しているか	30	0	0	0		SNSやホームページで活動の様子を発信している。また、月刊で教室だより「ステップアップ」「グローアップ」を配布している。
非常時等の対応	10 個人情報の取扱いに十分注意されているか	30	0	0	0		個人情報に関する複数のセキュリティを導入している。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	23	3	3	1		マニュアル作成は行っている。コロナによる見直しを行い、新たなマニュアルを作成した。再度周知を行った。
2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26		0	4		地震1月、不審者侵入5月、火災9～11月に実施している。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応及び回答
満足 度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	30	0	0	0		子供たちは、元気に笑顔で来ています。
	2 事業所の支援に満足しているか	30	0	0	0		指導員も子供たちの成長を感じています。

【チェック項目の欄に関する注釈】

「本人にわかりやすく構造化された環境」とは

この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

「児童発達支援計画」又は「放課後等デイサービス計画」とは

児童発達支援又は放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通して、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

「活動プログラム」とは

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせで実施されることが想定されています。

「ペアレント・トレーニング」とは

保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。